



前田利長

としなが

前田利長は戦国時代から江戸初期の武将で、加賀藩の初代藩主です。豊臣の五大老の一人、前田利家を父に持ち、藩政の安定に尽力し、加賀百万石の基礎を作りました。また茶道や能楽を愛し、加賀藩の文化の発展に貢献しました。こちらの兜は、前田利長所用と伝わる阿古陀形筋兜をもとに製作しました。鍬形の前立てに不動明王の持物である三鈷剣を配しています。剣に巻き付いた百足は、後退せず前進するのみである事から「勝虫」と呼ばれ、強さの象徴とされていました。



砂型鋳物：砂型に溶けた金属を流し込む様子

利長の意志を継ぐ鋳物の本場「高岡」

前田利長が鋳物づくりを奨励した事に始まり、四百年の歴史を育んできた銅器産業の町、富山県高岡市。この地で作られる兜は、原型師、鋳物師、研磨など、伝統工芸を受け継ぐ職人たちの手により、丹精を込めて作られています。その確かな技術が生み出す逸品を、インテリアとして日々の暮らしの中で感じていただきたいと思っています。

前田利長公兜 ¥30,800 (税抜 ¥28,000)

兜寸法 高さ13×幅17×奥行12.5cm
 付属品 座布団
 材質 亜鉛合金、錫、真鍮／金メッキ、塗装仕上

日本製

銀雅堂 GIN GA DO



株式会社ナガエ アート事業部 〒933-0319 富山県高岡市荒屋敷 278
 TEL.0766-31-2797 FAX.0766-31-6777

資料 No. CA060-01 【25/02】

(1562-1614)